

算数科学習指導案

1 学年 小学校 1年

2 単元名 のこりはいくつ ちがいはいくつ

3 本時の目標

- ・ 問題づくりによる式の読みを通して、減法の意味理解を深める。

4 本時の評価

- ・ 減法の場面を式に表したり、減法の式を読んだりすることを通して、減法の式の意味について考えている。

5 ICT 活用の目的

- (1) 教科書の絵をプロジェクターで大きく提示することにより、表示画面に集中させる。
- (2) スクリーンに映し出した絵に、タイルを置いていきながら、問題の数を確認させる。

6 ICT 活用・機器

- ・ 液晶プロジェクター ・ 実物投影機 (教材提示装置) ・ スクリーン

7 指導 (略案)

学 習 活 動 指 導 上 の 留 意 点

1. 教科書のさし絵を見て話し合う。

- ・ 場面や数の把握をする。

2. 本時の課題を知り、約束を確認する。

- ・ 教科書のさし絵をプロジェクターで大きく提示し、絵を見ながら確認していく。
- ・ 作問では、「分かっていること」と「きいていること」が大切であることを確認する。

3. $8 - 4$ の式になる作問をする。

- ・ 2～3人でお話づくりをさせる。

4. 問題を発表し、全体の場で話し合う。

- ・ 問題を発表
- ・ タイル操作で $8 - 4$ の確認

3. 慣れるまでは隣どうしなどでお話づくりをさせる。その際に、教科書の絵にタイルを置きながら操作させる。

4. 発表する時に、スクリーンに大きく映したさし絵の上に、ブロックを置きながら $8 - 4$ を確認する操作をさせる。

色々な考えを取り入れながら、いずれも減法として統合できることの理解が深まるようにする。

5. 本時のまとめをする。

求残, 求補, 求差のうち, 出なかったものがあれば紹介をし, 本時のまとめをする。